

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2021年 5月10日

日本政府に迫ろう 私たちの声と行動で

☆「歩く」平和行進スタートしました 道内網の目・網走コース さあ 行進出発！



連休中の暖気で満開の桜が咲く網走市では、5月9日原水爆禁止国民平和大行進の網走コース出発式が行われました。集会は16人の参加で行われ、参加団体より挨拶がありました。新日本婦人の会の弦巻支部長は「核兵器をなくすことは会の目標であり、50年以上、この運動を続けてきた。この運動を1歩でも2歩でも前にすすめるために今日は行進しましょう」と呼びかけました。

また、年金者組合の小森支部長は「核兵器は絶対無くさなくてはならない兵器、孫子のため、地球のためにがんばりましょう」と訴えました。他に高教組、日本共産党から決意表明がありました。

終わりに松浦理事から「今年1月の核兵器禁止条約の発効は被爆者を始めとする長年の運動の成果であり、大きな喜びだ。引き続き、日本政府は条約を批准せよの声を大きくして核兵器廃絶に結び付けよう」と呼びかけ、参加者全員で確認しました。

風がだんだん強まり、出発する頃には気温は8度。行進途中で雨も混じり、終点の網走駅に着く頃には7度となり、参加者は本当に頑張って行進しました。（網走原水協/松浦敏司理事）

“コロナ感染の深刻化のなか、今できることを”



5月8日、旭川では平和行進に替わる屋スタンディング行動を、全体参加12名で行いました。石川厚子常任理事（旭川市議会議員）と霜野洋一道北原水協事務局長がマイクを握りました。

感染拡大中（蔓防適用中）ということもあり、署名は行なわず、原爆写真を掲げ、『日本政府も禁止条約に署名・批准を』とのぼりやポスター、フラッグなどを持って、市民にアピールしました。

